

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

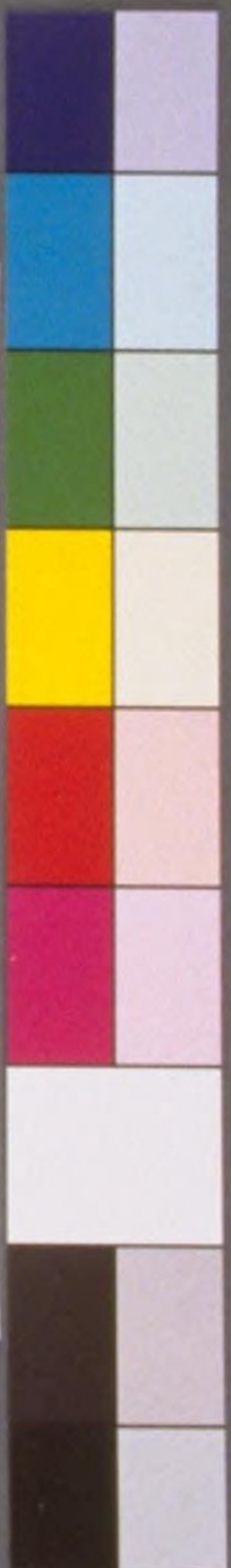
貴重図書

WA 32
1
27

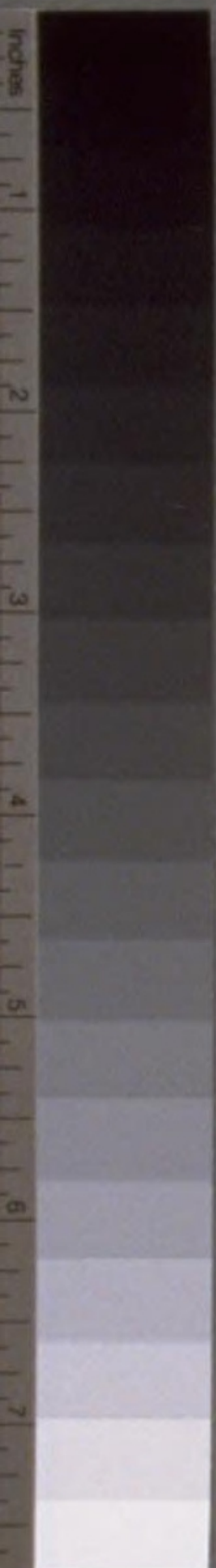
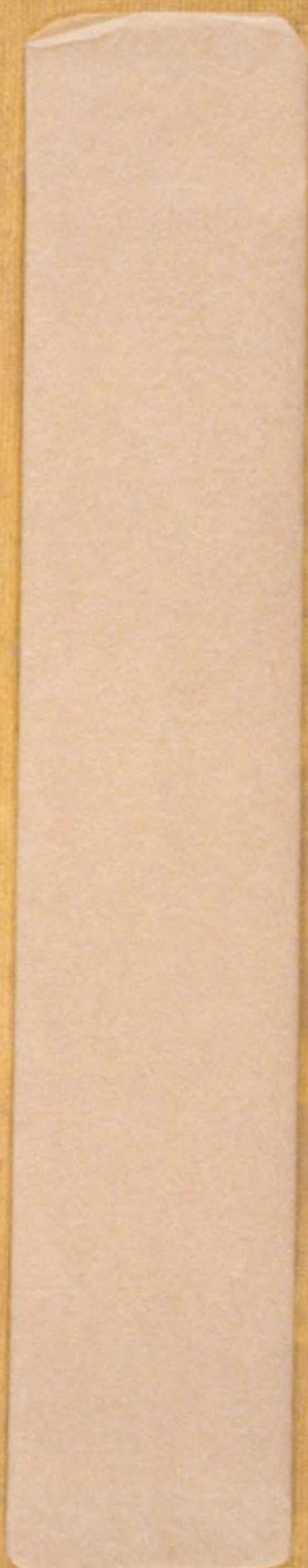
甲陽軍鑑卷第九

27-001

国立国会図書館



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



27-002

国立国会図書館

甲陽軍鑑卷第九 目録

石川折光

石川折光

并時

幕の

陽後の

七の

三ツ

軍陣

巻の

けの

ら

て

か

ま

馬

丁

果

ちんぎのす

しんぎのす

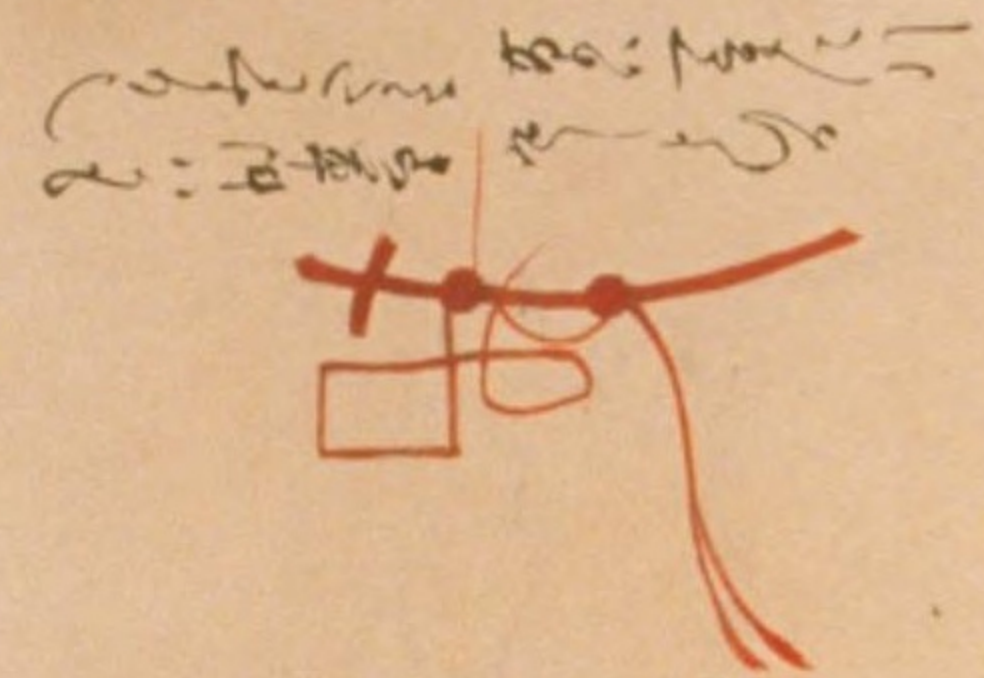
小刀のす

軍陣のす

おのす



ちんぎのすに同じくしんぎのすも一とちんぎ
のすはちんぎのすのすのすのすのすのすのす
のすのすのすのすのすのすのすのすのすのす
のすのすのすのすのすのすのすのすのすのす



ちんぎのすのすのすのすのすのすのすのす
のすのすのすのすのすのすのすのすのすのす
のすのすのすのすのすのすのすのすのすのす
のすのすのすのすのすのすのすのすのすのす

[illegible]

口惜まゝ
もつはりしつらふとてくちや
うゑもいへりあふみのさかき
軍陣のめくらぬくへておどろ
けりやうゑに

法よりいふ所のものと仰ふてある
 又軍陣の所をいふと仰ふてある同様に
 かくいふ所をいふ

上

漸平

一
腰

五光

御馬

一足

物毛下
蒼同結

上

漸
方

一
膽

千足

己上

武田清部馬

脂長

己上

馬

一

綱

一折

昆布

一折

御持

三折

己上

五百足

己上

己上

千足

己上

己上

己上

此足三の足
そのいはい百
そのいはい百
そのいはい百
そのいはい百
そのいはい百
そのいはい百
そのいはい百
そのいはい百
そのいはい百

己上

己上

己上

一腰

了

一足

己上

己上

己上

己上

己上

己上

己上

一折

己上

一折

己上

一折

己上

一折

己上

己上

己上

己上

己上

己上

一、並暑并列年

一也暑秋之平月也

沙金最貴者曰金

月日元卷

くさくさ玉面をらた

元後

東之太良乃之

二 三
安 太
清 香

可勿太當人之法

具一人之至誠

七月日 卷前日下

下

一三五七九二

二七六五四三一

中 下 上 全

二 三 四 五 六

[illegible]

二辰三卯四辰五巳六未七戌八亥
九酉十申十一未十二午

幕の乳中へ入す
臨^{リン}苦^ク爾^ニ者^ハ皆^モ陣^{ジン}烈^{リョウ}在^ニ前^{ゼン}怨^{オン}敵^{テキ}消^{シヨウ}滅^{メツ}
惡^{アク}魔^マ降^{カウ}伏^{フツ}怨^{オン}敵^{テキ}消^{シヨウ}滅^{メツ}天^{テン}地^チ和^ワ合^{カウ}皆^モ令^レ
満^{マン}足^{ツク}過^カ現^{ゲン}五^イ未^ミ来^{ライ}

うとくく名字無名宝名列と入るや

田

より文字一りのなりし
桓光の時

七曜

九曜

七曜

より文字一りのなりし
桓光の時

縄石

乳三十三一病元ねはまき
乳三十三一病元ねはまき

縄石

より文字一りのなりし
桓光の時

幕のつみぬううとものにてかゝる日を
と白くてもうとてつみぬううとものにてかゝる日を
あつて二つや

幕はまのつみぬううとものにてかゝる日を
はる幕のかきつて一つに二つに
えうてうてえ

敵のうとていふものにてかゝる日を
まのつみぬううとものにてかゝる日を
つみぬううとものにてかゝる日を
つみぬううとものにてかゝる日を

るるすふらしてはとていふに
軍陣のせいぎ^{しんぎ}をさしつゝのいふは
とのうけはとていふにさしつゝ
ふも、但し、いふにさしつゝ
後、いふにさしつゝ、いふに
目のわらふにさしつゝ、いふに
目のわらふにさしつゝ、いふに

幕のふらふにさしつゝ、いふに
ふらふにさしつゝ、いふに
月うめふにさしつゝ、いふに
日の物ふにさしつゝ、いふに

めふにさしつゝ、いふに
ふらふにさしつゝ、いふに
ふらふにさしつゝ、いふに
ふらふにさしつゝ、いふに

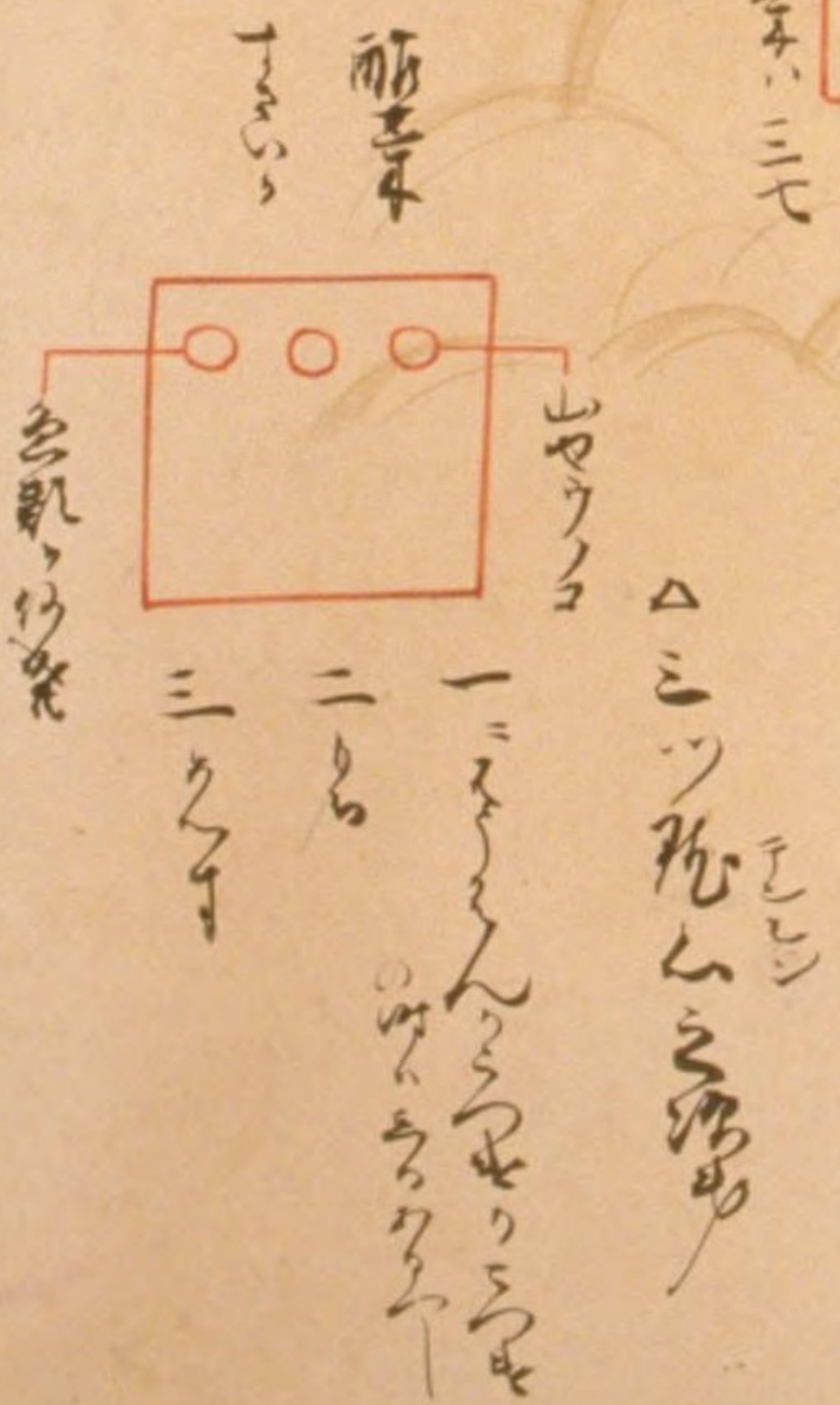
幕のふらふにさしつゝ、いふに
ふらふにさしつゝ、いふに
ふらふにさしつゝ、いふに
ふらふにさしつゝ、いふに

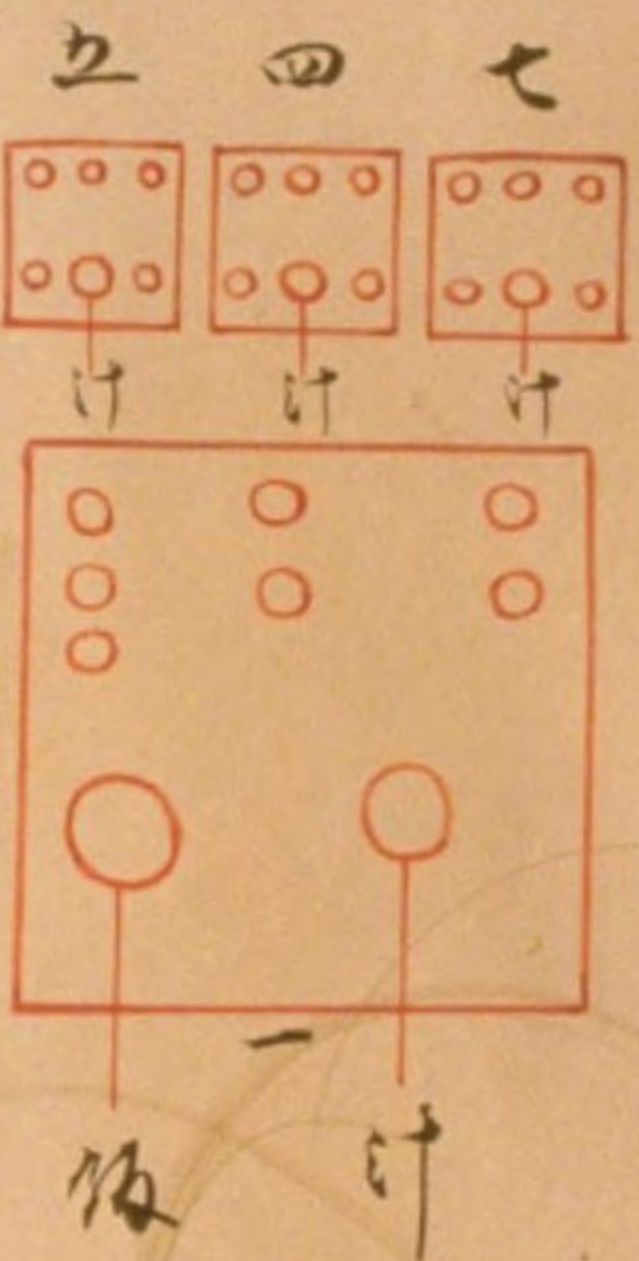
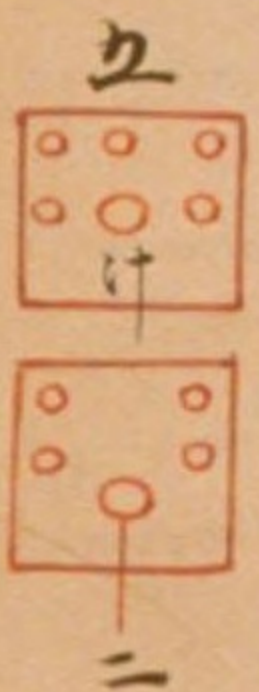
[illegible]

幸ねちんや



一七の曙之清也
 ちりつり
 ちりつり





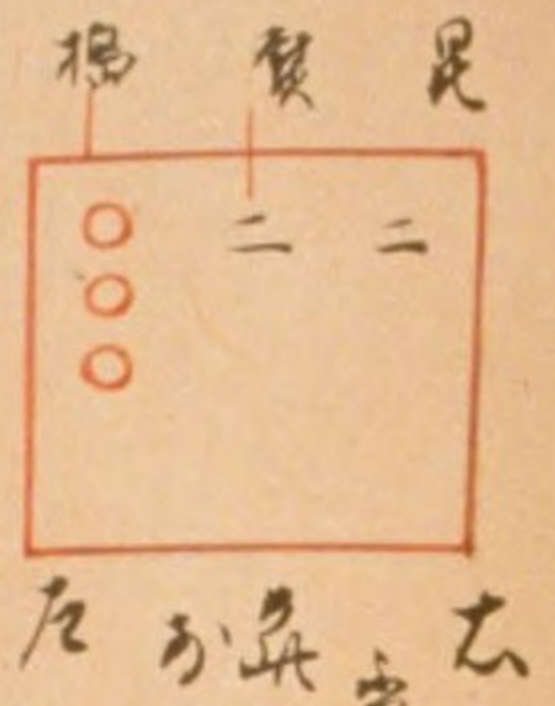
大なるはさすふあつていふ

一軍の河のほとり



あつていふのほとり

あつていふのほとり



あつていふのほとり

あつていふのほとり


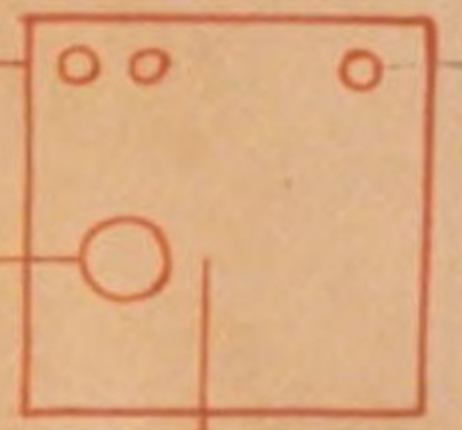
あつていふのほとり



あつていふのほとり

あつていふのほとり

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十



右九

[illegible][illegible]

沙水之清

四川後

五

みいさの物

下
後
の
甲

甲
乙
丙
丁
戊
己
庚
辛
壬
癸

小なり
角の子
みき
細
し

沙中橋

りも

石橋良河

り

勢

新ふた

塩

うへ肉を

もつ物

うやさ

ゆ

三の橋

かぬ

うさ

多分

目わい

り

るの

網

三の橋

う

うみ

毛羽

桶

恒

う

能

う

酒

う

桶

う

う

舟

一

小

う

唐

う

う

こ

[illegible]

柳 二
 金瓶
 上
 金瓶

寸金齋

救丸
蓮葉湯
紅竹梅

金相
五七

○ふのうりわしとてちすゝり

下

○ 平家のとりまゐりの所

卷之四

。 竹葉のうろろふん

21

一差さ竹たけ若わか葉は米こめ草くさのの也なり一尺いちせき寸すん二に寸すんのの也なり二寸にすん

8634

第4 ころころん

Handwritten notes in cursive script, possibly representing musical notation or a personal record.

三

丙

美つろのうゝもはふら
うゝの口付

しるし

一、（一）
 一、（二）
 一、（三）

酒之毒也

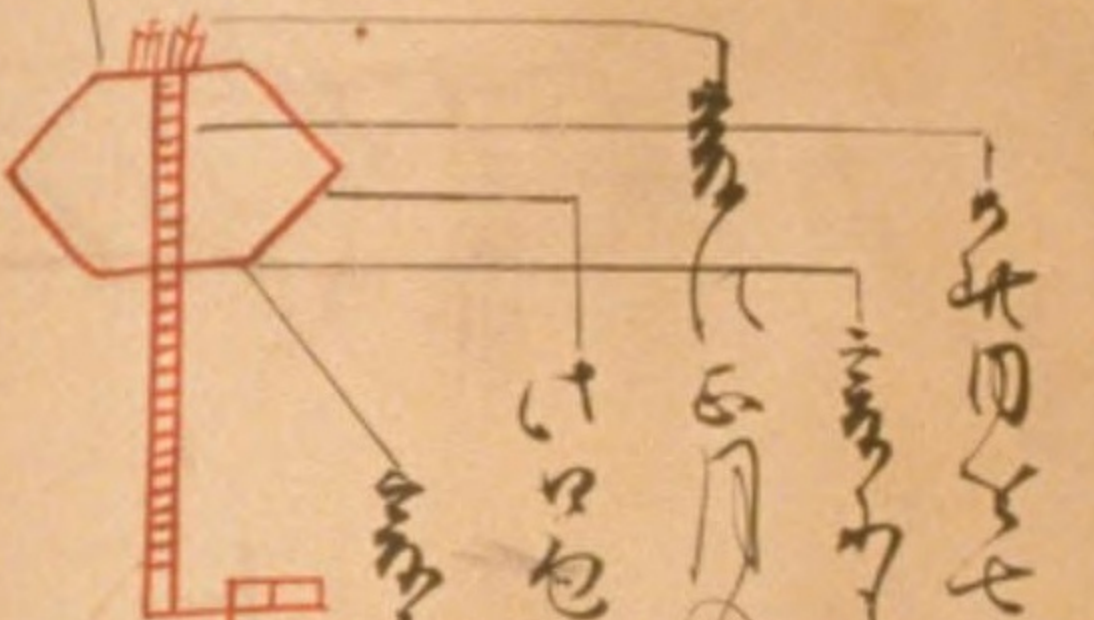
料の素師と云

凡座
上面
右座
新光



新嘉坡とびりきつて

1. The first part of the manuscript is a list of names, including "John", "Mary", "Elizabeth", "James", "Thomas", "Robert", "William", "Richard", "Henry", "George", "John", "Mary", "Elizabeth", "James", "Thomas", "Robert", "William", "Richard", "Henry", "George".

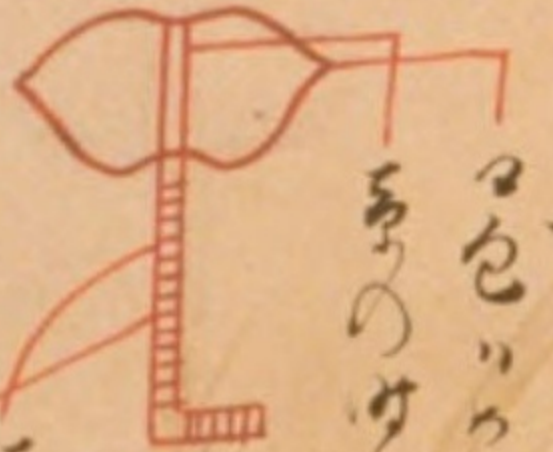


一、この時、あつた
 の、おつた、と包へ
 松、つた、お、松、包へ
 お、つた、と包へ
 お、つた、と包へ
 お、つた、と包へ
 お、つた、と包へ

あけとめけりて
まづもや

三月と云ふ二月の月或は
 三月の月と云ふ三月の月

えんごうの年々婚の水へあつて
あつていけは信とあつて二つあつてに包入せ
ぬ此地の内七つはあつていけあつてその内
といふは包やえんごのけや



色をりつせし
 系の時ゆとて色



此の時の色や

とうきくちよらるる鞆しちのち鞆しちとくく
 のういすらよしひめく水みづもさくくさ
 つるくくふさうてかふ動うごれくくの鞆え
 ぶてふのひさよら鞆しちて七しちとく同じら
 るるしらくくくくくくくくくくく
 てくくくくくくくくくくくくくくく
 いうくくくくくくくくくくくくくく
 とうきくちよらるる

未詳

唐尺一寸五分

のうす二寸板のうすは一寸もむらなく
 うすは六寸や替ふ所板うすとし
 厚さハ尺一寸を腰帯ふま
 敷板のうす
 尺一寸五分横二尺一寸より
 八寸よりなり

しりあふしはれとるはれとる

十宣曰
禮戒忠進
爲惠方
能力智也



卷之四

六十一

阮元

५५

阿堵物

乞上甲申乃可也

正八樓石室
下地
河石溪
佛
寺
山

大陽

大陽



白雲ハ横ルアリト云

市ノ物ハ九百ハミセ私公ノ物ハ十百ハミ云

白雲利ミ云云

ヤウラウ

流瀉馬ノ物ハミセ云云

クナリノ人ハ其ノ二ミ同ハミ云云

乞ハ中京中ミノミ云云

鬼ハ横ル并ニ他地ハ云云

大陽



大陽

大陽

白雲ハ横ル并ニ云云

白雲地ハ云云

市ノ物ハ九百ハミセ私公ノ物ハ十百ハミ云
白雲利ミ云云

市ノ物ハ九百ハミセ私公ノ物ハ十百ハミ云

△陽ハミ云云

陽ハミ云云

云云

云云

△陽ハミ云云

リ云云

云云

云云

乞ハト云云

やうい極る并に地敷言ての事也

むき親世も并とらぬ

むき親利よりとらぬ

祿のね九百八十七石

仏のね十百八十七石

歩立時片にゆき也 むき大日蓮とらぬ

むき利よりとらぬとらぬとらぬとらぬとらぬ

唐利よりとらぬ一神ありてとらぬ

とらぬとらぬとらぬ

和歌山とらぬとらぬとらぬとらぬ

和歌山とらぬとらぬとらぬとらぬ

飯一重と十文ととらぬとらぬ

とらぬとらぬとらぬ

一重の武帝の付親の寸の走り十二重とらぬ

矢の走りや他もくつとらぬとらぬ

とらぬ

和歌山とらぬとらぬとらぬ

とらぬとらぬとらぬ

とらぬとらぬ

竹の根はしら八幡までいひつゝて
常のうゑもふさふさ二つもつゝて
すゝもそのしらのかい二つもつゝて
そゝのうゑもふさふさ二つもつゝて

一町は一百里と云ひうらうらひいほ
 動搖と云くそ月拂と云く國と云く震と
 そいそ海と云く仰と云くそやと云く或と
 うと云く故鬼和國と云く元信と云く福家
 もと拂と云く雲と云くそ米のそや
 うらうらとの身と云くそと櫃と寸と重と云
 七口と云くそくわと云くわと云く二尺と云
 長と云くそと云く稗の湯と云くそと云く
 國陰と云くそと云くや

一、*Shinai* *Yari* *Yandori*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
41 *Shinai* *Shinai* *Shinai*



Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*

Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*

Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*



Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*

Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*

Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*



Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*
Shinai *Shinai* *Shinai* *Shinai*

軍陣の中へ後書ねて除

軍の時敵東方と見ゆに二矢なり
或る方より矢を發し 赤見の所の必要や
つこの時馬より中よりふくむるなりと
いふなり

一軍士のよりあるとてく後方とあるや

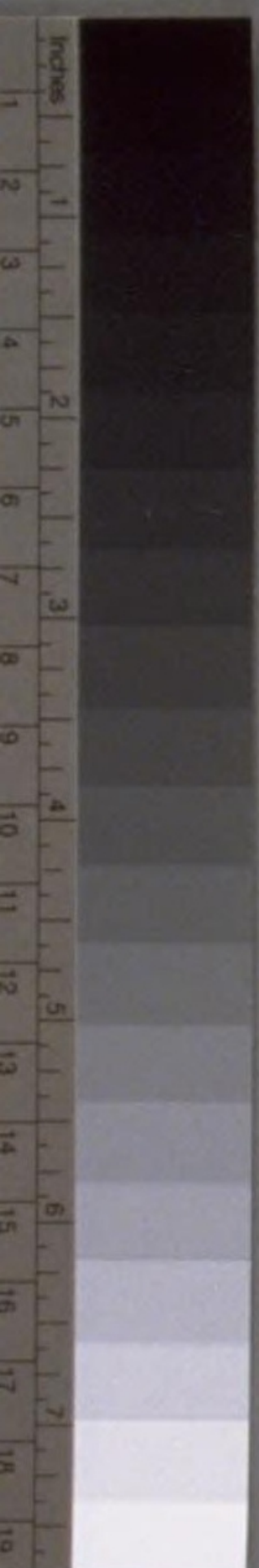
又知るに人ねどある時にてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを

一軍士のよりあるとてく後方とあるや
又知るに人ねどある時にてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを

一軍士のよりあるとてく後方とあるや
又知るに人ねどある時にてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを
くむる馬よりあるとてくを



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



27-037

国立国会図書館